

心理学基礎実験・実習Ⅱ

専門教育科目/1単位/S授業

担当教員 加藤 謙介

■使用テキスト * 担当教員によるレジュメ等

◆参考テキスト

講義概要・一般目標

「心理学基礎実験・実習」は、心理学の様々な「実験」課題への参加を通して、心理学の研究法への理解を深めることを目的としています。

「心理学基礎実験・実習Ⅱ」では、「心理学基礎実験・実習Ⅰ」の内容を踏まえ、知覚心理学・社会心理学を中心に実験課題を行います。また、心理学研究の結果得られた様々な知見を社会で活用するための方法について、事例紹介を通して考えていきます。

なお、本科目は、授業内に行われる各実験課題について、それぞれ、レポートとしてまとめることも、重要な課題として位置づけています。実験課題への参加とともに、レポートの執筆・提出も含めて、心理学の研究法への理解を深めてもらいたいと思っています。

受講生の皆さんには、「心理学基礎実験・実習Ⅰ」の内容を踏まえ、本科目を通して、科学的視点に基づく「問題」の把握/適切な「方法」の選択/適切なデータ分析と「結果」の整理/「考察」の視点設定について学びを深め、基礎心理学的視点から、多様な社会問題に対する「問題発見・解決力」、および、社会の変化に適応するための「自己研鑽力」の修得を期待します。【D(1)(5)】

到達目標

- 1) 心理学研究に関わる基礎的な研究方法について説明できる。
- 2) 心理学の書式に即したレポートを作成することができる。
- 3) 心理学の個別分野に関する知見について説明できる。
- 4) 心理学の個別分野に関する実験課題を実施できる。
- 5) 心理学の知見を社会に活用する際の問題、及び「知恵」について説明できる。

評価方法

以下の5点に基づき、評価を行う。

- (1) 出席状況（遅刻・欠席は不可）、(2) 受講態度、(3) 各実験課題への参加、(4) 授業内での課題レポートの執筆・提出、(5) 最終課題レポートの執筆・提出